

★チャレンジ!夢に向かって★

～ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成～

大仙っ子 新聞読もうDAY

大仙市教育委員会では、小学校3年生から中学校3年生までの全児童生徒に新聞を配付し、児童生徒が実社会の諸問題を多面的に考察し、公正に判断する力等を育成することを目的に「大仙っ子新聞読もうDAY」という事業を行っており、小学生には年10回「読売Kodomo新聞」が配付されます。

4月19日(金)に1回目の配付が行われ、朝読書の時間を活用して新聞を読みました。5年生の様子を参観したところ、アメリカ大統領選挙に関する記事など、それぞれ興味を持った紙面を開き、じっくり読み込んでいました。学習指導要領では、5年生の国語と社会で新聞を活用して調べたり考えたりする学習を行います。新聞を読むことで、国内外の出来事や社会への興味・関心を高めることができるとともに、文章を正しく読み解く力などの読解力の向上にもつながります。

右の折れ線グラフは、全国学力・学習状況調査の児童質問紙調査で、「新聞を読んでいますか」という質問項目に「全く読んでいない」と回答した割合を秋田県と全国の小6平均の推移を示したものです。「新聞離れ」が年々増加していることが分かります。また、右の棒グラフは「令和5年度全国学力・学習状況調査」の「小学校国語の正答率と新聞を読む習慣」をクロス集計したものです。新聞を読む習慣が身に付いている児童ほど正答率が高いことが分かります。

本校では、今年度から学校図書館の壁面に「さきがけこども新聞」を掲示し、子どもたちが日常的に新聞に触れることができるようにしています。

